

生徒指導通心

2020.10 第15号

生徒指導主任 川崎 洸嗣

二学期も中盤にさしかかろうとしております。朝晩の冷え込みが強くなり、今年度はコロナの影響で体調管理には敏感になっていることかと思えます。季節の変わり目は、少しでも体調の変化を感じたら、無理をせず、ご飯をしっかり食べて栄養を補給し、早めの睡眠で体調を維持しましょう!! そのコロナウイルスは和歌山県内では最小限に抑えられ、学校生活も順調に生活を送ることができています。しかし油断は大敵です。これからの時期ウイルスは再度、力をつけて猛威を振るう可能性がありますので、しっかり対策を続けましょう!!

その中で二学期の行事が、規模縮小で開催されていきます。体育大会は例年大盛り上がりの応援合戦は中止し、競技は接触を少ないものに変更しました。そして三年生の修学旅行の行き先は東京から和歌山に、日程は二泊三日から一泊二日に変更。文化発表会も予定しています。先生達も皆さんのために、学校が盛り上がるよう工夫していますので、皆さんも、限られた時間で思い作りや、仲間との連帯感を育めるように、トライしていきましょう!!

【不易と流行!?～伝統を軽視せず、今の社会に対応できる人になろう!!～】

「不易」とは、時代を超えて変わらないもの。「流行」とは、時代の変化とともに変えていく必要があるもの。という松尾芭蕉の言葉として伝えられています。「不易」を追究するためには、常に変化（「流行」）をしていかなければならない。変化する場合は本質的なものを踏まえていかなければなりません。松尾芭蕉の言葉なので、俳諧の世界だけと思いがちですが、個人の成長、紀伊中学校の発展や今後どんなことにもあてはまる考え方です。紀伊中学校の伝統と今後を担う皆さんには、変わらないものと、変えていく必要があるものを一度考えて欲しいと思います!!

不易

それだけでは世の中の価値観が合わず、廃れてしまいます。しかし確固たる考えが確立でき、普遍的になります。一本の木に例えると、幹や根です。ずっと変わらない太い幹が理想です。学校生活では、基本的な生活習慣を養うことや生活に必要な、漢字の読み、書き、買い物などでの計算等を学習する事で、いくら技術が発展しても勉強し続けなければいけない事なのです。

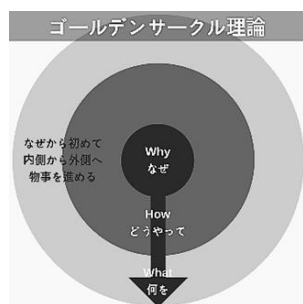
「being」と「doing」

being とは、あり方であり、存在理由です。時代が変わっても、決して変わる事のない使命や思想を表します。doing は多方面に合わせ、日々トライ＆エラーを繰り返しながら、時代時代でも最も相応しい方法を試していきます。being を明確にし、信頼を積み上げていくことが長い紀伊の本質を構築するためには大切な事ですし、doing に一喜一憂する必要がないという事です!!

流行

これだけでは世の中に合わせすぎて流されてしまう。しかしいつの時代も新しい良い社会をめざしたいものです。一本の木に例えると、葉や花、実。季節の変化に合わせて育ち、開き、枯れて、次の新しい季節へと循環していきます。今の学校生活では、外国語の学習や、情報化に伴うプログラミング学習などのコンピュータの勉強。またタブレットや各個人に配布されたコンピュータを使用して等の学習形態や環境の変化の事です。

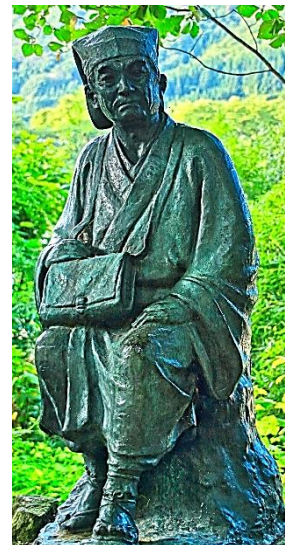
こんな考え方もあります。右の図はゴールデンサークル理論という考えです。人は「なに」ではなく、「なぜ？」に動かされる生き物であり、それを知っている人は内側から外側に向けてメッセージを伝えていくのです。



松尾芭蕉（1644～1694 年）江戸時代前期の俳諧師。 三重県伊賀市出身。

“物言へば 唇寒し 秋の風”

【解釈】口を開けば調子にのり、人の悪口を言ったり余計なことを口走り、他人から恨まれたり、叱られたりと、後悔する。



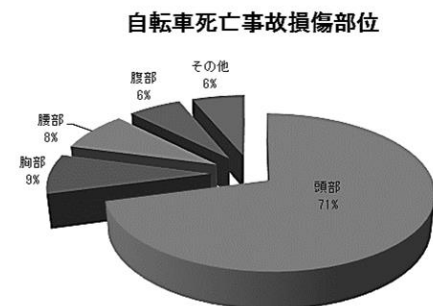
話ができる性格は、大変立派なことだし、良いことだと思います。しかし言葉には重みがあり、自分が言った言葉で人を傷つけている場合もあります。自分が言いたい事と、相手に伝わる言葉は違うという事を、頭の片隅に置いてください。ましてや、人の悪口とわかりながら、口を開き続けている人は、今すぐにその口を閉じて欲しいと思います。また口は災いの元。たくさん情報が飛び交う中で、又聞きの話や、あたかも自分の考えのように相手に伝えたと、結果自分にすべて返ってくるので注意していきましょう!!

【交通マナーを強化!!～事故のない紀伊中学校を目指して!!～】

最近の登下校の様子を見ると、特に一年生は自転車通学に慣れてきたように思います。しかしその気持ちの緩みが事故の元!! また二、三年生は成長したことで、反射神経や体力が向上してきた分、自転車を一つの道具としか見ていないような気がします。そのため、自分は自転車を使いこなしている気分。そのような過信が大きな事故に発展する事は先生たちや大人は良く知っています。スピードが出た自転車で事故をすると、大けがで済まない可能性があります。もう一度余裕の持った登下校で、交通安全を心掛けましょう!!

自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方のうち、東京都では約 7 割、和歌山県は約 5 割が頭部に致命傷を負っています。（図 1 参照）

交通安全クイズ① 歩道に歩行者がいない場合、自転車は運転者の年齢や道路標識等の有無にかかわらず、歩道を通行できる!?○か×か! 答えは次号で!!



【生徒指導からの連絡】

秋も深まり、季節が移り替わろうとしております。行事を目の前に、気持ちの落ち着きがなくなっていないですか!?毎日の授業は大切にできていますか!?授業終了後は、先に次の授業の準備をして休憩しましょう。移動教室へ行くのが遅くなっております。また忘れ物が多いのもそのせいでしょうか!?何事も準備を先に済ませて、余裕を持ち授業に臨みましょう!!

【今後の予定】

- 冬服装更衣期間：10月30日（金）まで 11月2日（火）より冬服装で登校しましょう!!
- 体育大会：10月15日（木） 修学旅行：3年生 10月26、27日（月、火）
- 毎週火曜日（16時～17時） 個別相談実施中（相談室・保健室）

※相談したい事がある人は担任の先生、もしくは相談室（川崎）・保健室（林）へ直接連絡ください。

※朝の出発時間にゆとりを持ち、交通安全には十分に気をつけ登校するようにしてください!!

※不審者も続出しています!! 暗くなるのが早くなっているので、十分に注意してください!!

